

議 事 概 要

協議会名称	伊勢市地域包括ケア推進協議会(第7回)
開催日時	令和4年12月26日(月) 13:30~15:00
開催場所	御園公民館 2階 講堂
出席した委員	萩吉康、徳田敦、前村裕司、斎藤茂、本村鏡一、三浦徹、森川和俊、森和香子、前島賢、脇海道友美、黒精美行、水島徹、岡本忠佳、赤坂知之 計14名
欠席した委員	小林裕典、村瀬広和、西出裕一、二ノ宮尚美、北村鈴代 計5名
出席した事務局職員	江原(健康福祉部長)、森本(介護保険課長)、藤川(主幹兼介護認定係長)、山本(介護保険料係長)、竹原(介護監査係長)、中村(介護給付係長)、井上(介護給付係主査)、杉浦(主幹兼健康づくり係長)、奥野(高齢・障がい福祉課長)、小林(福祉生活相談センター長)、田代(総合相談係長)、中村(共生事業係長)、服部(地域福祉係長)、小川(連携調整係長)、世古口(医療保険課長) ※計15名
傍聴者	4名
議題及び協議概要	<p>1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査アンケート内容について「資料1」</p> <p>○介護予防・日常生活圏域ニーズ調査アンケート内容について、事務局から資料に沿って説明</p> <p>委員「性別を問う設問について、3どちらでもない、4答えたくないなど回答の選択肢を増やしてはどうか。」</p> <p>事務局「事務局でも事前に検討したが、回答結果を国システムと連携することもあり、データの取得上選択肢を増やすことは難しいと考えた。」</p> <p>委員「65歳はまだまだ元気であるのに、アンケートの対象者を65歳以上に設定したのはなぜか。」</p> <p>事務局「介護保険制度では65歳以上が第1号被保険者となっており、このアンケートは比較のお元気な方を対象に現在の状況をお聞きし、介護予防政策に活かすことを目的としているためである。」</p> <p>委員「アンケートの目的が介護予防政策の参考にするためである</p>

ことを記載してはどうか。」

事務局「アンケートの目的が伝わりやすいよう工夫を検討する。」

委員「回答で選んだ選択肢によって、次に進む設問が違ってくるものについては、もっと表記を分かりやすくした方が親切である。」

事務局「表記を工夫できないか検討する。」

委員「フレイル予防のために取り組んでいることを聞く設問について、回答の選択肢に「特にない」を追加してはどうか。」

事務局「そのように対応させていただく。」

→了承

2 地域密着型サービス事業所等の指定更新等について「資料2、資料2-1」

○地域密着型サービス事業所等の指定更新等について、事務局から資料に沿って説明

委員「失効となった事業所があるが、その理由は何か。」

事務局「事業所から利用者がいないため更新を行わないとの連絡があり、指定期間が終了したため失効となった。」

→了承

3 地域包括支援センターの次期運営委託について「資料3」

○地域包括支援センターの次期運営委託について、事務局から資料に沿って説明

委員「委託先の法人に、社会福祉法人以外に医療法人があるが問題ないのか。」

事務局「法的に問題はなく、公募により選定したものである。また、運営実績も有るため問題ないと考えている。」

→了承

4 地域包括支援センターの運営について「資料4」

○地域包括支援センターの運営について、事務局から資料に沿って説明

→了承

5 その他

○事務局より連絡

・次回の協議会の開催について、3月頃の開催を予定しており、候補日等が決まり次第連絡させていただく。